

Press Release

報道用資料

2008年1月18日

台湾の自動車初期品質調査で、トヨタ・ブランドのモデルが3セグメントでトップ

2007年台湾自動車初期品質調査(IQS)

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、略称：J.D. パワー、代表取締役会長兼社長：J.D. パワー 4 世）は、2007年台湾自動車初期品質調査（Initial Quality Study、略称 IQS）の結果を発表した。

当調査は、台湾の新車ユーザーを対象に、購入後 2～6 ヶ月間における車両の初期品質を調べるものである。車両性能分野別に 8 つのカテゴリーに分類される 200 以上の項目について、実際に経験した不具合をユーザーに指摘してもらい、100 台当たりの不具合指摘件数として算出する。単位は PP100（Problems per 100 Vehicles）で、数値が小さいほど不具合指摘が少なく、品質が良いことを示す。

8 つのカテゴリーは「外装分野」、「走行性能分野」、「装備品/コントロール/ディスプレイ分野」、「オーディオ/エンターテインメント/ナビゲーション分野」、「シート分野」、「空調分野」、「内装分野」、「エンジン/トランスミッション分野」である。

10 回目となる今回の調査は 2006 年 12 月から 2007 年 5 月の間に新車を購入した人を対象に 2007 年 7 月に郵送調査を実施し、約 6,000 人から回答を得た。12 メーカーの 50 モデルが調査に含まれている。

業界全体で初期品質が改善

セグメント別ランキングでは、8 セグメント中 3 つでトヨタ・ブランドのモデルが首位に立った。各セグメントの第 1 位は以下の通りとなった（カッコ内は 100 台当たりの不具合指摘件数）。＜参考：3 ページのランキング表＞

コンパクトカー・セグメント： ヒュンダイ・ゲッツ（277PP100）
 プレミアム・コンパクトカー・セグメント： スズキ・SX4（256PP100）
 エントリー・ミッドサイズカー・セグメント： トヨタ・ヴィオス（275PP100）
 ミッドサイズカー・セグメント： 日産・シルフィ（281PP100）
 プレミアム・ミッドサイズカー・セグメント： トヨタ・カムリ（228PP100）
 ラグジュアリーカー・セグメント： レクサス・ES（108PP100 - 調査開始以来の最少スコア）
 SUV セグメント： ホンダ・ニューCR-V（215PP100）
 MPV セグメント： トヨタ・プレヴィア（206PP100）

今回の調査では新型車とフルモデルチェンジ車が 4 セグメントでトップに立った。新型車は日産・シルフィとスズキ・SX4、フルモデルチェンジ車はヒュンダイ・ゲッツとホンダ・CR-V である。

これについて、当調査を担当した J.D. パワー アジア・パシフィック（シンガポール）のシニア・マネージャー、サリーム・チェンは「新型車やフルモデルチェンジ車では、製造ラインが切り替わってから間もない市場投入初期に不具合がより多く発生する傾向にある。しかし今回の調査ではこの傾向は見られなかった。これは、メーカーが市場において安定した競争力を確保するため、新型車やフルモデルチェンジ車の市場投入時に初期品質を高める努力をしていることの表れである」と述べている。

不具合指摘件数の 2007 年の業界平均は前回調査 (2006 年) から 21% 減少し 325PP100 となり、業界全体で初期品質が改善していることがわかった。今回と前回の両方で調査対象となった 42 モデルのうち 39 モデルで品質の改善が見られた。またランキングトップのモデルと最下位のモデルのスコア差も前回の 450PP100 から 307PP100 へと縮小した。

「すべてのメーカーが車両性能の改善に努めていることが品質の差の縮小からうかがえる。これは台湾市場における競争がいかに激化しているかを示している。消費者の利益につながるため歓迎すべきことである」(チェン)

調査対象の不具合項目のうち 3 分の 2 において、前回調査から改善が見られた。特に大きく改善したのは「走行性能分野」、「内装分野」、「エンジン/トランスミッション分野」に関する項目だった。また新車所有者が購入後 2 ~ 6 ヶ月の間に経験する不具合は、平均 3 件であることがわかった。

* 当報道用資料はシンガポールで発表したオリジナル (英語) の抄訳です。

* J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

< 株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて >

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

< J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて >

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ (本社: 米国カリフォルニア州ウエストレイク・ビレッジ) は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

< ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて >

1888 年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ (NYSE: MHP) は、スタンダード & プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界 40 カ国に 280 カ所以上の拠点を有し、2006 年の売上高は 63 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

< 当調査に関するお問い合わせ先 >

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野、杉崎

住所: 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル (〒105-0001)

電話: 03-4550-8090

FAX: 03-4550-8151

e-mail: cc-group@jdpower.co.jp

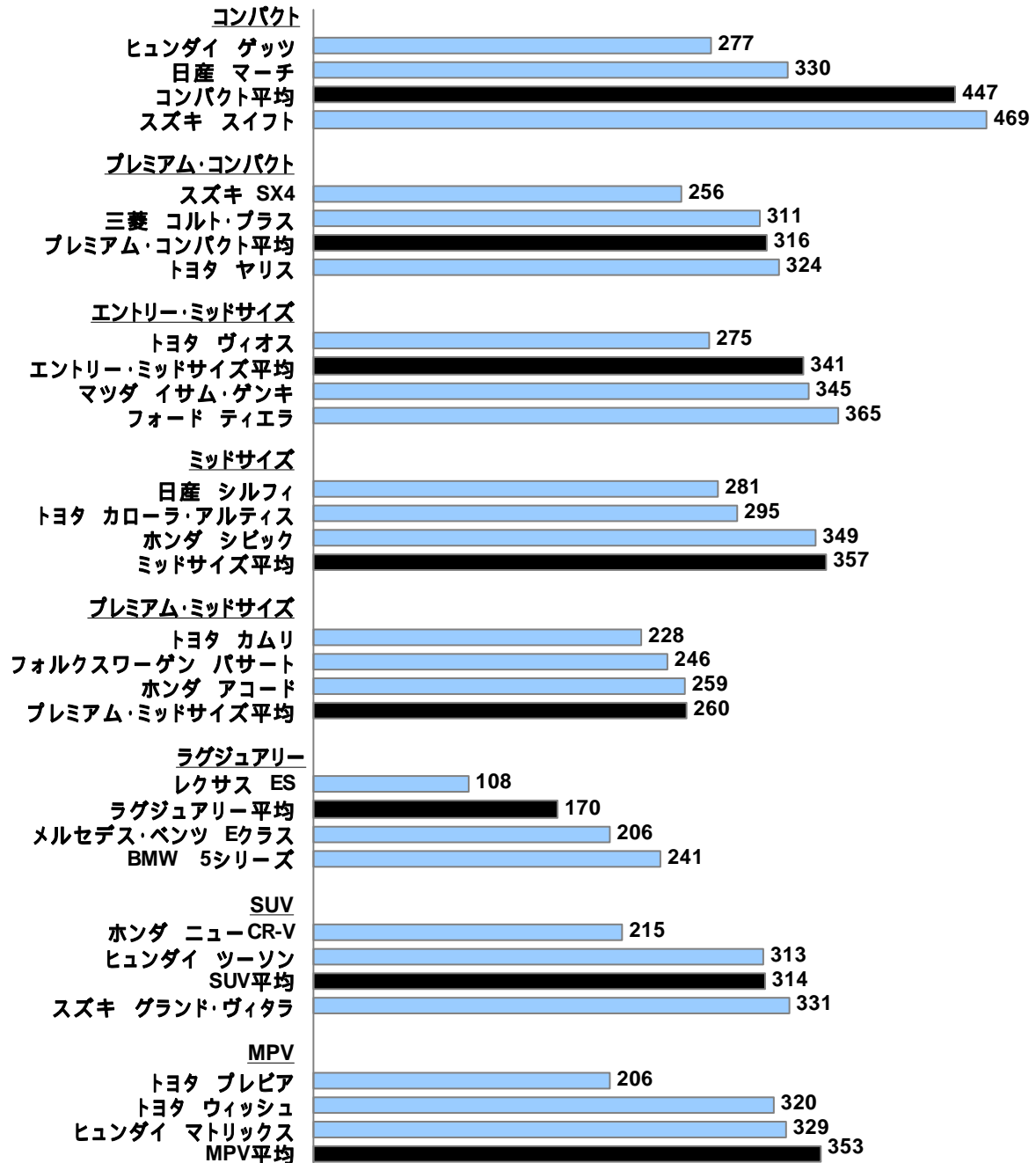
< ご注意 >

本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車初期品質調査SM (IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル (スコアが低いほど、不具合指摘が少ないことを示す)

単位: PP100



注: エントリー・SUVセグメント、エントリー・ラグジュアリー・セグメント、プレミアム・SUVセグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車初期品質調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車初期品質調査SM) を明記してください。